

保護者 各位

福井県立藤島高等学校  
PTA会長 宇坪啓一郎

## PTA講演会のご案内

向暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、保護者の皆様には平素よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。

さて、保護者の皆様を対象としたPTA講演会を、下記のとおり開催させていただきますので、是非ご参加ください。

記

演 題 『AI時代の教育改革』

講 師 <sup>すすき</sup>鈴木 <sup>かん</sup>寛 先生

講師紹介：東京大学教授、慶應義塾大学教授、社会創発塾塾長

Teach for All Global Board Member、元・文部科学副大臣、前・文部科学大臣補佐官、日本サッカー協会理事など。

東京大学法学部卒業後、通商産業省に入省。資源エネルギー庁、国土庁、産業政策局、生活産業局、シドニー大学、山口県庁、機械情報産業局などで勤務。通産省勤務の傍ら、大学生などを集めた私塾「すずかんゼミ」を主宰し、現在に至る。

12年間の国会議員在任中、文部科学副大臣を2期務めるなど、教育、医療、スポーツ・文化、科学技術イノベーション、IT政策を中心に活動。文部科学省参与、文部科学大臣補佐官を四期務める。日本でいち早く、アクティブ・ラーニングの導入を推進。2020年度から始まる次期学習指導要領の改訂、40年ぶりの大学入学制度改革に尽力。

(公式ホームページより抜粋)

日 時 7月21日(日) 14:00~15:30(予定) (※受付 13:30~14:00)

場 所 フェニックスプラザ 小ホール

※駐車場に限りがあり、講演会当日は混雑が予想されます。公共交通機関をご利用いただくか、時間に余裕を持ってお越しください。

※下記の参加申込書にご記入のうえ、お子様をとおして担任にご返信ください。

----- 切 り 取 り 線 -----

### 7/21 PTA 講演会 参加申込書

参加者名

※参加される方全員のお名前をご記入ください

参加予定者人数

\_\_\_\_\_ 名

年 組 生徒氏名 \_\_\_\_\_

# 鈴木 寛

KAN HIROSHI SUZUKI



[ホーム](#)

[プロフィール](#)

[業績リスト](#)

[著作物](#)

東京大学教授、慶應義塾大学教授、社会創発塾塾長

Teach for All Global Board Member、元・文部科学副大臣、前・文部科学大臣補佐官  
日本サッカー協会理事など。

1964年生まれ。東京大学在学中は、東京大学音楽部コーラルアカデミー、東京六大学合唱連盟（理事）、  
駒場小劇場ネヴァーランド・ミュージカル・コミュニティ（音楽監督）、東大グリーン・テニスクラブに所属。  
佐藤誠三郎先生（政治学）、菅野和夫先生（労働法）に師事。

1986年 東京大学法学部卒業後、通商産業省に入省。資源エネルギー庁、国土庁、産業政策局、生活産業局、  
シドニー大学、山口県庁、機械情報産業局などで勤務

山口県庁出向中に吉田松陰の松下村塾に何度も通い、若者の無限の可能性を実感し、人材育成の大切さに目覚める。  
郷里神戸の阪神淡路大震災被災（実家は半壊）から半年後の1995年夏から、通産省勤務の傍ら、大学生などを集めた私塾「すずかんゼミ」を主宰し、現在に至る。  
省内きってのIT政策通であったが、「IT充実」予算案が旧来型の公共事業予算にすり替えられるなど、官僚の限界を痛感。霞が関から大学教員に転身。慶應義塾大助教授時代は、徹夜で学生たちの相談に乗るなど熱血ぶりを発揮。  
IT業界はじめ日本を支える実業家や社会起業家などを多数輩出。

慶應義塾大学 SFC 助教授を経て2001年参議院議員初当選（東京都）。12年間の国会議員在任中、文部科学副大臣を  
2期務めるなど、教育、医療、スポーツ・文化、科学技術イノベーション、IT政策を中心に活動。参議院憲法審査会  
幹事、超党派スポーツ振興議連幹事長、東京オリンピック・パラリンピック招致議連事務局長、超党派文化芸術振興  
議員連盟幹事長や日本ユネスコ委員も歴任。ラグビー・ワールドカップ招致・準備、東京オリンピック・パラリンピ  
ックの招致に尽力。

2012年4月、自身の原点である「人づくり」「次代の社会づくり」にいつそう邁進するべく、一般社団法人社会創発  
塾を創立。社会起業家の育成に力を入れながら、2014年2月より、東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政  
策メディア研究科兼総合政策学部教授に同時就任、日本初の私立・国立大学のクロスアポイントメント。若い世代  
とともに、「卒近代」をキーワードに各界におけるエポック・メイキング（新時代創世）を目指している。各分野で  
の卒業生たちの大活躍から、今では、「平成の松下村塾」ともしばしば呼ばれ、若者から入ゼミ希望が殺到中。

2014年10月より文部科学省参与、2015年2月より2018年10月まで、文部科学大臣補佐官を四期務める。日本で  
いち早く、アクティブ・ラーニングの導入を推進。2020年度から始まる次期学習指導要領の改訂、40年ぶりの大学  
入学制度改革に尽力。

「どんな家に生まれても、どんな地域育っても、すべての子ども・若者の最善の学びを」をライフワークに、希望者  
全員奨学金、高校無償化、高等教育無償化、幼児教育無償化政策実現など、学習権の保障・充実に尽力。

現在、大阪大学招聘教授（医学部・工学部）、中央大学客員教授、電通大学客員教授、福井大学客員教授、  
和歌山大学客員教授、日本サッカー協会理事、NPO 法人日本教育再興連盟代表理事、独立行政法人日本スポーツ振興  
センター顧問、JASRAC 理事、一般社団法人ストリート・ラグビー・アライアンス代表理事、

一般社団法人日本レース・ラフティング協会会長、一般社団法人 INOCHI 未来フォーラム理事などを務める。

（公式ホームページより）